

ハイブリッド エンタープライズ イズが満たすべき5つのビデ オ会議要件

ハイブリッドワークスペースへの要望を満たす決定的な要件



logicool®

ハイブリッドエンタープライズが満たすべき5つのビデオ会議要件

信頼性	1
一貫性.....	2
拡張性	3
使いやすさ.....	4
柔軟性	5
まとめ	6

すべてのチームが動的かつ公平な、臨場感にあふれるコミュニケーションを取れるようにすることは、現代の働き方における最優先事項です。

人々の働き方は、従来型のオフィスワークから、ハイブリッドワーク環境という新しい現実へ移行しています。ビデオ会議ソリューションを進化し続けるワークプレイスに対応させるためには、会議室から個人のワークスペースに至るまで、すべての人に質の高いコラボレーション体験を提供する、従来のソリューションにとらわれない、包括的な戦略に焦点を当てる必要があります。

IT部門の意思決定者は、複雑なコラボレーション環境で一貫した体験を提供するために、画質やオーディオ性能といった基本の機能だけでなく、5つの決定的な要件、すなわち、信頼性、一貫性、拡張性、使いやすさ、柔軟性も考慮しなくてはなりません。



1 信頼性

最近の調査によると、IT部門または非IT部門の責任者の40%が、ビデオ会議ソリューションを購入する際の最重要事項または2番目の重要事項として「信頼性」を挙げています¹。

なぜでしょうか？それは信頼性が、生産性と効率性の原動力であるためです。従業員は、コードの紛失、ケーブルの脱落、ウェブカメラの故障、ヘッドセットの紛失といった問題に煩わされるべきではありません。信頼性の高いシステムなら、従業員は最も重要なこと、すなわち自分が行うべき仕事に集中できます。

サプライヤーに尋ねるべき質問

- ✔ ハードウェアの耐久性はどの程度か？
- ✔ ソリューションの接続に使用するケーブルを保護し、無許可の変更などを防ぐために、どのような対策が取られているか？

技術的な問題には時間を取られます。1人だけでなく、会議参加者全員の時間が無駄になります。10人のチームなら、6分の遅延で1時間分の生産性が失われることになりま。これに加えて、システムの復旧に必要な技術サポートの時間も必要になります。

適切なソリューションを選べば、IT部門は潜在的な問題を事前に監視、予測、解決することができ、ワークフローをほとんど中断することなく、システムを確実に、常に最良の状態で作働させることができます。

2 一貫性

どんなに機能が豊富なビデオ会議ソリューションでも、それが複雑すぎる、あるいはそう思われるのであれば、あまり意味がありません。そこでカギとなるのが一貫性です。きわめて優れたビデオ会議ソリューションは、あらゆるワークスペースで簡単に使用できます。オフィス、外出先、自宅など、あらゆる場所でいつでも使用できます。直感的で思い通りに機能するソリューションであれば、組織全体でユーザーの利用が促進されます。さらに、ユーザーの利用率の低下にもつながるストレスの溜まる退屈なトレーニングを減らしたり、あるいは不要にしたりすることができます。

今もほとんどのビデオ会議で、大会議室が主要なアクセスポイントとして使用されていますが、こうした状況は変化しつつあります。ハイブリッドワークの台頭により、デスクトップやスマートフォンといった他のアクセスポイントの必要性が増してきています。きわめて効果的なソリューションであれば、会議室、ノートPC、タブレット、スマートフォンなどがどのように混在していても、簡単に接続できます。

サプライヤーに尋ねるべき質問

- ④ エンドユーザーが機器の使い方に慣れるまでにどの程度のトレーニングが必要か？
- ④ エンドユーザーの会議室での体験と、自宅や外出先での体験は、どのように異なるか？





3 拡張性

これまで、ビデオ会議システムに必要なインフラストラクチャは、ユーザー数や通話の頻度を推定することで決定していました。しかし現在は、この「法則」だけでは不十分です。ハイブリッドワークを希望する従業員は増加の一途をたどっており、企業は、ビデオ会議のユーザーを、迅速に2倍あるいは3倍に増やせる能力を必要としています。拡張性が重視されるのはこうした理由からです。

サプライヤーに尋ねるべき質問

- ④ 会議室やホームオフィスを構築する際の平均的な費用はどのくらいか？
- ④ ハードウェアの設置に専門チームは必要か？
- ④ リモート監視とデバイス管理の点では何が提供されるか？
- ④ どのようなサポート契約およびサービス契約があるか？

今日のハイブリッド エンタープライズに最適なソリューションは、より多くのユーザーや通話数に対応するだけでなく、会議室や個人のワークスペースから世界各地の拠点に至るまで、すべてのワークスペースを拡張できるように設計されています。また、手頃な価格、導入のしやすさ、リモート管理、カスタマーサポートの面でも、拡張性が考慮されています。企業の従業員が増加し成長するのに合わせて、ビデオ会議ソリューションも拡張し進化させていく必要があるためです。



4 使いやすさ

ビデオ会議システムは、会議室で行われている会議にリモートから参加することを可能にする、優れたツールです。チームの分散が進む今、会議室からでもリモートからでも、会議参加者全員が積極的にコラボレーションに関与できるようにすることが重要です。それも、直感的で使いやすい方法で行えるようにする必要があります。

会議室にいる参加者が、デジタルコンテンツをリアルタイムで共有しようとしてデバイスを接続する際に、手間取ることがよくあります。これは、既存の会議室において、システムやケーブルの種類がさまざまに異なることが原因です。また、ホワイトボードなどの物理的なコンテンツを共有する際にも同じような問題が起こりがちです。ほとん

サプライヤーに尋ねるべき質問

- ✔ コンテンツ共有やコラボレーションをリアルタイムで簡単に行えるか？
- ✔ リモートからの参加者に会議室内のコンポーネント（ホワイトボードなど）をすべて見せるには、どうすればよいのか？

どの会議スペースに、こうした用途に対応する専用のツールがないためです。会議をスムーズに進めるためのコンテンツを余すところなく見ることができなければ、リモートからの参加者は、コラボレーションに全面的に参加できません。

きわめて優れたソリューションは、人と人のつながりを容易なものにします。会議への参加やコンテンツの共有をシンプルにすることで、既存のツールの価値を最大限に引き出します。そうして会議室内/外の体験のギャップを埋めます。参加者全員が会議に深く関与でき、かつどこからでも公平に参加できるようにすることで、より深いコラボレーションと、より有意義な対話を実現できます。

5 柔軟性

企業は過去何十年にもわたって基本的に閉鎖的なシステムであるビデオ会議ソリューションのハードウェアとソフトウェアに投資してきました。やがて、会議プラットフォームのソフトウェアは、オープン化が進み、あらゆる会議に任意のデバイスから参加できるようになった一方で、会議室システムのハードウェアは、柔軟性に欠け、相互運用性に乏しいままでした。

今日の企業に、柔軟性に欠ける閉鎖的なシステムを使用している余裕はありません。さまざまな会議プラットフォームが存在するため、ビデオ会議システムは、こうしたプラットフォームが必要とする形式に合わせることで柔軟性が求められるようになりました。

先進のハイブリッド エンタープライズが投資すべきビデオ会議テクノロジーとは、ニーズの変化に応じて会議室プラットフォームを簡単に切り替えでき、それによって長期的に高いROIを達成し、ビジネスへの影響を最小限に抑えることのできるテクノロジーです。さらにそのシステムは、ハードウェアを複数の会議室プラットフォームで使い回せるだけでなく、会議室に持ち込んだノートPC上で実行する他の会議プラットフォームと一時的に連携できる機能も備えている必要があります。これが、ハイブリッドワークスペースに求められる柔軟性です。

サプライヤーに尋ねるべき質問

- ✔ ビデオ会議プラットフォームのアライアンスパートナーはどこか？
- ✔ そのパートナーはお使いのソリューションとどう連携するか？
また、認定を受けているか？
- ✔ ソリューションは、複数のプラットフォームに対応できる柔軟性をどの程度備えているか？





ハイブリッドエンタープライズにおける公平な会議

爆発的に普及しているビデオ会議ですが、その導入には課題が伴います。IT部門の意思決定者は、全員が公平に参加できる、臨場感のある会議体験を提供する必要性をこれまで以上に認識しています。

効果的なコミュニケーションと生産性向上の基盤となる、きわめて優れたビデオ会議ソリューションを提供するためには、信頼性、一貫性、拡張性、使いやすさ、柔軟性が欠かせません。

結論として、すべては次々とハイブリッドワークに移行していく従業員に対して、可能な限り最高の、かつ公平な会議体験を提供するという事なのです。モダンな働き方が定着した「ネクストノーマル」の世界で成功するには、個々の機能の集合体ではなく、総合的な戦略が必要なのです。



logicool

www.logicool.co.jp/vc

購入前のお問い合わせ：

株式会社ロジクール
<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/videocollaboration/help/contact-sales.html>

購入後のお問い合わせ：
カスタマーリレーションセンター
<https://prosupport.logi.com/>

2022年2月発行

ロジクールソリューションを導入すれば、未来のワークプレイス コラボレーションに対応できます。ロジクールは、チームが生産性を妥協することなく、あらゆる場所からコラボレーションを行えるよう、支援します。

詳細はこちら：www.logicool.co.jp/vc

¹ Forbes, When Choosing an Enterprise Video Conferencing Solution, Focus on these Critical Attributes

© 2022 Logitech, Logicool. All rights reserved. 株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、予告なく変更される場合があります。